

平成27年度

福岡市市民福祉プラザ事業報告

福岡市社会福祉協議会・旭商会共同事業体

目 次

I 福岡市市民福祉プラザ事業の実施状況	P 1～15
※ 平成27年度 福岡市市民福祉プラザ指定管理決算書	P 16～19
II 福岡市市民福祉プラザ指定管理者自主事業の実施状況	P 20

I 福岡市市民福祉プラザ事業の実施状況

1. プラザの適切な管理運営を行った。

福岡市社会福祉協議会・旭商会共同事業体（以下「共同事業体」という。）の組織体制（資料編P1）に基づき、運営委員会、現場責任者会議、安全・サービス向上委員会を設置して、密接な連携による安全安心な管理運営を行った。

<運営委員会・現場責任者会議の開催状況>

日時	内容	出席者
平成27年 4月30日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の交代について ・平成27年度事業計画について ・レストラン・喫茶の公募について ・苦情要望（3月分）について ・光熱水費（3月分）の実績について ・消防設備の不備改修について ・省エネの進捗状況について 	6名
5月26日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業報告について ・平成26年度指定管理者評価シートについて ・苦情要望（4月分）について ・光熱水費（4月分）の実績について ・身障者トイレのウォシュレット便座取付改修について ・6月度の主な点検等について 	6名
6月25日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・サービス向上委員会の開催について ・レストラン・喫茶募集の経過報告について ・苦情要望（5月分）について ・光熱水費（5月分）の実績について ・新たな入居団体の増加に伴う省エネ対策について 	6名
7月27日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度第1回安全・サービス向上委員会の報告について ・レストラン・喫茶運営事業者選考委員会の結果について ・苦情要望（6月分）について ・平成26年度特定建築物維持管理報告書の結果について ・6月に実施した衛生害虫防除の報告について ・ファンコイル点検について ・光熱水費（6月分）の実績について 	5名
8月25日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット予約について ・苦情要望（7月分）について ・指定管理者監査について ・光熱水費（7月分）の実績について ・ファンコイルの点検清掃について ・消防用設備の点検結果について 	6名
9月30日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練の実施について 	5名

	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情要望（8月分）について ・光熱水費（8月分）の実績について 	
10月28日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施について ・みんなでふくし&ふくふくプラザバリアフリー映画祭について ・福祉施設調査研究事業について ・苦情要望（9月分）について ・光熱水費（9月分）の実績について ・冷暖房の切替について 	6名
11月30日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット予約について ・みんなでふくし&ふくふくプラザバリアフリー映画祭について ・障がい者作品展について ・苦情要望（10月分）について ・光熱水費（10月分）の実績について 	6名
12月22日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・監査事務局監査報告について ・平成28年度事業計画について ・苦情要望（11月分）について ・光熱水費（11月分）の実績について 	5名
平成28年 1月26日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート月間集計結果について ・平成28年度事業計画について ・光熱水費（12月分）の実績について 	5名
2月26日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業計画について ・監査事務局所管課監査 事実確認事項について ・第2回消防訓練の結果について ・苦情要望（1月分）について ・光熱水費（1月分）の実績について 	5名
3月29日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情要望（2月分）について ・光熱水費（2月分）の実績について 	6名

<安全・サービス向上委員会の開催状況>（P10）

<指定管理者として、以下の4つの機能の充実を図った。>

「民間の福祉活動の拠点機能」（P9：7. 福祉活動推進のためのプラザの施設の提供）

「情報提供及び相談機能」（P5：3. 福祉に関する図書、資料等の収集及び福祉情報の提供
P6：5. 福祉に関する相談）

「研修機能」（P7：6. 福祉に関する研修及び啓発）

「交流機能」（P9：8. その他の事業等の企画・実施）

(1) 安全第一と省エネを両立させた施設管理とプラザ事業の一層の充実

共同事業体として、これまで市民福祉プラザ指定管理や施設管理業務受託等で培った経験やノウハウを生かし、利用者の安全第一を最優先に施設・設備等の管理を行った。

15年経過したファンコイルエアコン172台の内、50台の空調設備の点検を行い耐用年数の向上と省エネに努めた。（既点検台数94台：平成26年度44台、平成27年度50台）

また、入居団体をはじめ利用団体との連携はもとより、地域住民組織、社会福祉や保健・医療・教育等の関係機関・団体等と連携・共働し「みんなでふくし&ふくふくプラザバリアフリー映画祭」

(P9)を開催し、地域福祉の啓発・推進を図った。

(2) 万全の危機管理体制づくり

指定管理関係職員、入居団体職員で防火管理委員会及び自営消防隊を設置し、委員会及び消防訓練を行った。(P13) また、プラザ関係職員の誰もがAEDや人工呼吸などの緊急時の初動対応ができるよう、普通救命講習を行った。(P12)

また、施設内のインフルエンザ等の感染症予防及び拡散防止に努めた。(P13)

(3) 開かれた運営とサービスの向上

入居団体、利用団体はもとより、福祉関係団体や地域団体、市民等との意見交換、アンケート調査等により要望、ニーズ等を把握して、迅速な改善を図るなど利用者目線に対応した。(P10)

(4) 数値目標を設定した運営管理

事業計画に基づき、市民向け講座参加者数やホームページアクセス数、アンケート評価等に数値目標を設定して進行管理し、目標達成に取り組んだ。

項目	目標数値	実績	備考
福祉講演会延べ参加者数	670 人	715 人	P7参照
ホームページアクセス数	60,000 件	61,275 件	年間件数P6参照
利用者アンケート評価 (良い・だいたい良い)	95 %以上	99.1 %	資料編P9参照 アンケート回答者373名
視察・施設見学件数	70 件	73 件	資料編:P2参照

2. 福祉関係団体との連絡調整

本会を構成している地域団体や民間・行政の福祉関係団体・機関、ボランティア団体等との連絡調整を行い、市民福祉プラザの基本理念である市民の主体的な福祉活動への参加を支援した。

(1) プラザ入居団体、利用団体、地域団体等と懇談会を行い、相互に連携、交流を図った。

①プラザ入居団体による「プラザ連絡会」を実施し、プラザの円滑な運営を図った。

日時	出席者	内容
平成27年 4月14日(水)	10団体 16名	・貸室の優先利用について ・平成27年度プラザ事業計画について ・事業概要一覧の作成について 他
6月11日(木)	9団体 13名	・貸室の優先利用について ・平成26年度プラザ事業報告について ・喫茶室の公募について 他
8月12日(水)	9団体 14名	・貸室の優先利用について ・第1回消防訓練と救命救急講習会の実施について ・福岡市事業の実施に伴う施設優先利用申込みについて 他
10月9日(金)	13団体 18名	・貸室の優先利用について ・平成27年度プラザ相談員研修会について ・アンケート月間(11月)の実施について ・プラザ調査研究事業の実施について 他
12月10日(木)	12団体 17名	・貸室の優先利用について ・第2回消防訓練の実施について ・第2回救命救急講習の実施について 他

平成28年 2月9日(火)	11団体 15名	・貸室の優先利用について ・第2回消防訓練、第2回救命救急講習について ・アンケート月間集計結果の報告について 他
------------------	-------------	---

②当仁校区地域団体との懇談会の実施

当仁校区民生委員・児童委員協議会との懇談会を実施した。

実施日時：平成28年2月23日(火) 12:00～13:00

〃 3月22日(火) 10:00～10:30

場 所：当仁公民館

参加者：当仁校区民生委員・児童委員22名

内 容：市民福祉プラザの事業概要及び市民福祉プラザで行われている相談窓口等の説明を行うとともに、地域が抱える福祉課題、プラザへの意見・要望を伺った。

・意見 独居高齢者、認知症の高齢者の見守りが一番の課題である。

・質問 プラザの貸室で地域カフェが行われているようだ、部屋は有料か？

回答) 自治協議会の木立会長で申し込みいただければ減免となる。

・質問 地域で親子料理教室を行う場合、調理実習室は借りられるか？有料か？

回答) 借りられる。同じく木立会長名で申し込んでいただければ減免となる。

配布資料：福岡市市民福祉プラザパンフレット

市民福祉プラザ平成27年度事業概要一覧

③当仁校区自治協議会連絡会議への参加

毎月第4火曜日に公民館で開催される当仁校区自治協議会連絡会に市民福祉プラザとして参加し、プラザで実施される事業の広報をしたり、地域の活動状況を入居団体に知らせるなど、地域との交流のきっかけづくりを行った。

④地域情報コーナー、利用団体掲示板の設置

掲示板等によりプラザ来館者に近隣地域やプラザを利用している団体の情報を提供した。

また、プラザ入居団体の事業概要一覧を作成し配布した。

(2) プラザを拠点に活動するボランティアグループを支援するため、福岡市ボランティア連絡協議会との懇談会を実施した。(資料編：P4～6)

実施日時：平成28年3月26日(土) 14:00～15:00

場 所：ボランティアルームB

参加者：福岡市ボランティア連絡協議会 17名

(3) 団体連絡室を利用する団体への支援のため懇談会を実施した。

実施日時：平成28年3月27日(日) 15:00～16:00

場 所：市民福祉プラザ団体連絡室

参加者：4団体4名

主な内容：1. 備品、ロッカーの整備について
2. プラザでの相談事業支援について
3. インターネット予約導入について

(4) 部会・委員会の開催状況

本会与密接な関係のある団体・施設による部会(民生委員児童委員部会、地域福祉部会、施設部会)及び、各種委員会などの活動を通じて把握した地域の福祉課題や市民意識を、プラザが行う福祉啓発事業や調査研究事業等に反映させた。

実施日	会議名	内 容	参加者
平成 27 年 5 月 19 日(火)	福岡市社協連絡協議会 第 1 回地域福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市社会福祉協議会第 5 期地域福祉活動計画骨子案「校区社協強化策の立案」について ・地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針（骨格案）について ・「地域のまち・絆づくり検討委員会」経過報告について ・平成 27 年度安心情報キット配付事業について 	13 名
5 月 20 日(水)	福岡市社協連絡協議会 第 1 回施設部会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人の地域貢献における取組みについて ・「福祉の職場説明会」について 	17 名
7 月 3 日(金)	福岡市社協連絡協議会 第 1 回民生・児童委員部会	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市社会福祉協議会第 5 期地域福祉活動計画の全体像について ・地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針（構想案）について 	7 名
11 月 4 日(水)	福岡市社協連絡協議会 第 2 回民生・児童委員部会	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」（案）について 	7 名
11 月 17 日(火)	福岡市社協連絡協議会 第 2 回地域福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市社会福祉協議会第 5 期地域福祉活動計画策定スケジュールについて ・「校区社協強化策」（案）について ・「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」（案）について 	11 名
平成 28 年 3 月 14 日(月)	福岡市社協連絡協議会 第 2 回施設部会	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市社会福祉協議会第 5 期地域福祉活動計画（案）について ・「第 59 回大都市社会福祉施設協議会（名古屋市大会）準備会」について 	13 名

3. 福祉に関する図書、資料等の収集及び福祉情報の提供

福祉関係を中心とした図書・資料等を収集するとともに、本会に入ってくる多様な福祉情報を図書・情報室で整理し、市民や福祉関係者等に提供した。

- (1) 福祉図書・情報室の運営（福祉関連図書・雑誌等の資料の収集、閲覧・貸出業務、レファレンスサービス、インターネット検索等）を行った。

〔福祉図書情報室蔵書数〕

図 書	ビデオ・DVD
30,723 冊	1,138 本

利用者数	貸出数		新規利用登録者数	レファレンス件数
	図 書	ビデオ・DVD		
37,691 名	11,425 冊	942 本	513 名	955 件

- (2) 視覚障がい者へのサービス（対面朗読サービス、ふくふくプラザだよりの点訳・朗読テープの作成）を行った。

対面朗読サービス	「プラザだより」点訳版	「プラザだより」音訳版
延217件	8冊/号	18本/号

- (3) 市民福祉プラザ情報誌「ふくふくプラザだより」の発行やホームページの運営により 福祉情報や当事者団体の活動を広報した。
- 「ふくふくプラザだより」：月刊 3, 000部/回
 - ホームページアクセス数：61, 275回
- (4) 市内の図書室や情報提供機関によって構成される「情報資料連絡会」へ参加し、図書や情報提供機関の収集資料情報を交換し情報提供機能の強化に努めた。
- 参加回数：3回
- (5) 子ども向けの福祉図書の充実を図り、子どもへの福祉啓発に努めた。
- 児童書蔵書数 1, 728冊
- (6) 福岡県図書館情報ネットワークで県内図書館の横断検索を行い、福祉資料の所蔵に関する情報提供を行った。
- (7) 希望者に新着図書情報を、希望する分野にメール配信した。
- 配信件数 20件
- (8) フェイスブックによる情報提供
- 市民福祉プラザのイベント等の各種情報を幅広く発信し、新たな世代層の利用促進や、利用者増加を図るためフェイスブックによる情報発信を行った。
- いいね！ 323件
- (9) 福岡市民図書館との「図書資料の相互返却」を行った。
- 相互返却件数 他館 5, 725冊 自館 1, 383冊

4. 『福祉に関する調査及び研究』に関する方針及び具体的な計画

障がい児・者福祉施設に焦点を当て、地域との関係についての実情、福祉施設側から関係づくりを進めるにあたっての課題や問題点等を把握・分析することにより、地域との関係強化や協働を進めるための要件や工夫を明らかにすることを目的にアンケート調査を実施した。

なお、アンケートを実施するにあたり、関係団体に協力いただき意見交換会を実施した。

- (1) 調査対象施設 福岡市内の障がい者福祉施設（314施設）
- (2) 回答施設 162施設（回答率51.6%）
- (3) 調査協力団体 福岡市民間社会福祉施設協議会、福岡市身体障害者福祉協会
福岡市手をつなぐ育成会、福岡市精神保健福祉協議会
障がい者より良い暮らしネット、福岡市社会福祉事業団
- (4) 意見交換会 平成27年10月16日（金） 参加者10名
（市民福祉プラザ4階 応接室3）

5. 福祉に関する相談

市民からの相談に対応するため、プラザ入居団体で各種相談窓口を設置し、一般的・専門的な相談サービスを提供するとともに、各種相談サービスの充実・強化が図られるよう「ふくふくプラザだより」やホームページでPRするなどの支援を行った。

併せてプラザ外で実施されている福祉相談窓口との連携が図られるよう、連絡調整を行うとと

もに、プラザ相談窓口研修会を開催し相談機能の充実を図った。

(1) 相談内容・件数等

※各団体の直接事業

実施団体	相談内容	件数
福岡市社会福祉協議会	心配ごと相談	388件
	高齢者に関する法律相談	120件
ふくおか福祉サービス協会 (介護実習普及センター)	住宅改造相談	3,289件
	介護技術・福祉用具相談	2,346件
福岡市身体障害者福祉協会	障がい者110番	179件
	障がい者結婚相談	58件
福岡市手をつなぐ育成会	知的障害に関する相談	69件
認知症の人と家族の会	福岡市認知症介護相談事業	31件
	認知症の介護に関する電話相談	107件
福岡家庭教育研究所	教育相談	65件
AA福岡ハーバーグループ	アルコール依存症相談(新規)	15件

(2) プラザ相談窓口研修会の実施

福岡市社協が実施する心配ごと相談員研修会に、プラザ入居団体が実施する各種相談所の相談員等に広く参加呼びかけを行い実施した。

日 時：平成27年10月29日(木) 13:30～16:30

実施場所：市民福祉プラザ502研修室

内 容：「相談員の心身のセルフケア」

講 師：心身調和メソッド研究所 代表 高浪 藤徳 氏

参加者数：35名

6. 福祉に関する研修及び啓発

総務・図書研修

市民を対象に、福祉についての正しい理解と福祉意識の高揚を図り、新たな福祉人材を育成・確保するため、今日的福祉課題に対応したテーマを設定した福祉啓発研修を実施した。

また、入居団体等と連携して、一般市民の施設見学や海外からの研修を受け入れた。

さらに、売店内に設置している授産製品展示コーナーを管理し、販売を受託している(社福)福岡市身体障害者福祉協会と連携して授産施設の啓発を行った。

(1) 研修・講演会等の企画実施

事業名	日時・目的・内容等	場所	人数
「福祉講演会」 3回 市民を対象に、 今日的な福祉課題である「孤独死」などをテーマにした講演会を実施した。	(第1回) 6月18日(木) 13:30～15:30 「現場から見た孤立死防止 ～セルフ・ネグレクト(自己放任)と孤立死～」 講師：速水 靖夫 氏 (NPO 法人孤立防止センター理事長)	ふくふく ホール	265 名
	(第2回) 9月10日(金) 13:30～15:30 「まちでみんなで認知症の人をつつむ ～共感と協働のまちづくり～」 講師：大谷 るみ子 氏 (大牟田市認知症ライフサポート研究会代表)	ふくふく ホール	242 名

	<p>〈第3回〉12月2日(水) 13:30~15:30 「危機にある子どもと家族への支援 ～子どもの問題は、子どもと家族のSOS～」 講師：山本 裕子 氏 (福岡市子ども家庭支援センター「SOS子どもの村」センター長)</p>	ふくふく ホール	208 名
施設見学案内 海外からの研修 受け入れ支援事業	<p>障がい者や高齢者への理解を深めるとともに、ボランティア活動や他の福祉活動への関心を広げる機会を提供するため、プラザの見学案内を受け入れた。また、海外からの福祉関係者や学生の視察研修は、プラザ入居団体と協働して受入れた。</p>	<p>73団体 1,698名 (内訳) 国内 37団体 1,024名 海外 36団体 674名</p>	
社会福祉援助 技術現場実習生の受け入れ	<p>社会福祉専門職を目指す大学生の現場実習生を受け入れ、地域福祉推進及び社会福祉の啓発を図った。</p>	<p>8月18日(火)～9月18日(金) (24日間) 2名 (筑紫女学園大学、久留米大学)</p>	

(2) 授産製品展示コーナーの管理

展示施設：43施設

展示内容：非食品30施設、食品19施設

(3) 福祉映画の夕べ ～福祉映画鑑賞会の実施～

市民の福祉意識やボランティア意識の高揚を図ることを目的に、障がい者も一緒に鑑賞できる副音声や字幕入りの福祉映画鑑賞会を開催した。

実施日	内容	会場	来場者数
平成27年8月6日(土)	ブタがいた教室	市民福祉プラザ ふくふくホール	130名

(4) 喫茶室内及びロビーでの障がい者作品展の実施

障がい者週間にあわせて福祉団体・施設から寄せられた絵画や写真などを展示し、障がい者福祉の啓発に努めた。

展示期間：12月1日(月)～12月27日(土)

展示内容：絵画、写真など58点

(5) 「ふくふくプラザ写真展」の実施

写真を趣味としてプラザを利用している団体を対象に、生きがい活動の支援と団体相互の交流を図るため、写真展を開催した。

<展示期間・参加団体>

平成27年4月 2日(木)～15日(水)、2団体43点

4月17日(金)～30日(木)、2団体39点

5月20日(水)～6月2日(火)、2団体22点

6月 4日(木)～17日(水)、2団体26点

6月19日(金)～30日(火)、1団体37点

(6) ボランティア養成講座

各種ボランティア養成講座を実施しボランティアの育成、活動支援を行った。

(ボランティアセンター主催)

研修名	日付	参加者数
視覚障がい者のための音訳 (朗読)ボランティア養成講座	平成27年 5月28日(木)～9月3日(木) (全13回)	28名、うち10名が活動を開始
高齢者外出支援ボランティア 養成講座	6月6日(土)～27日(土) (全4回)	12名、うち4名が活動を開始
ガイドボランティア養成講座	9月5日(土)～19日(土) (全3回)	14名、うち7名がガイドボラン ティアサークル「風車」に加入
傾聴ボランティア講座	11月7日(土)～12月26日(土) (全8回)	20名、受講者でボランティアグ ループ「りんどう」を結成。

7. 福祉活動推進のためのプラザの施設の提供

- (1) 民間の福祉活動の拠点・交流・研修機能として、福祉活動に参加する市民に会議室や研修室、実習室、ホール等、研修・交流の場を提供し、市民の福祉活動を支援した。(資料編:P2)
貸出にあたっては、事前の説明・案内等及び利用の際の助言等を行い、利便性の向上を図った。

[貸出施設等]

- 団体事務室 (11団体) ○会議室 (3室) ○研修室 (7室)
○各種実習室 (7室) ○ふくふくホール ○交流ひろば

8. その他の事業等の企画・実施

- (1) 「みんなでふくし&ふくふくプラザバリアフリー映画祭」の実施

福岡市ボランティア連絡協議会やエフコープ生活協同組合等と共催し、また、市内の福祉団体や当仁校区自治協議会、福岡大学附属若葉高等学校、西日本短期大学、大村美容ファッション専門学校、工房陶友などの地元団体や学校等との協力のもとにイベントを開催し、市民の福祉啓発とバリアフリー映画の周知を図った。

日 時：平成27年12月12日(土) 10:00～18:30

場 所：市民福祉プラザ

内 容：バリアフリー映画上映、授産製品販売・バザー、障がい者スポーツや博多おはじき絵付け体験、朗読のスキルアップ講座、試食コーナー など

参加者数：1,500名

- (2) 「とうにん・ふくふくコンサート」の開催

ふくふくホールの「音響の良さ」を十分に活用し、「どなたでも良質な音楽を楽しめる」音楽会を、当仁校区自治協議会、当仁公民館、福岡大学附属若葉高等学校等と共催して開催した。

開催回数11回、来場者合計905名

回数	開催日	出演団体等	入場者数(人)
1	平成27年5月31日(日)	大阪音楽大学	100
2	6月13日(土)	活水女子短期大学音楽部	100
3	7月11日(土)	ミュージックフェローズ	80
4	8月20日(木)	前田奈緒、権藤寛子	60
5	9月29日(火)	中西弾、榎元圭テュウサイケル	55

6	10月22日(木)	中井文子、榎元圭ホームコンサート	60
7	11月19日(木)	馬見塚有美リサイタル	65
8	12月7日(月)	福岡大学附属大濠中学・高校	100
9	12月21日(月)	とうにん・ふくふくクリスマスコンサート	65
10	平成28年2月13日(土)	バレンタインコンサート	60
11	3月5日(土)	ひまわりコーラス	160

9. プラザの利用サービス向上策

(1) 利用者の満足度を高め、より多くの市民に利用してもらうために、利用者へのアンケート調査やボランティア連絡協議会・障がい者団体等との意見交換、利用者への聞き取りなどを通じ意見・要望等をうかがい、管理・運営の改善とサービス向上に反映させた。

① アンケート調査の実施(資料編:P7~21)

11月をアンケート月間と定め、施設利用時にアンケート用紙を配布し職員の対応・施設の使い勝手等について意見・要望をうかがった。

※ アンケート回答者 393名

② ご意見箱及び直接寄せられた利用者からの意見・要望(資料編:P22~27)

③ 入居団体、利用団体及び地域団体との意見交換(再掲P3)

ア 入居団体との意見交換

イ 利用団体との意見交換会

i 団体連絡室利用団体との懇談会内容

ii 福岡市ボランティア連絡協議会との懇談会の実施

ウ 地域団体との意見交換会

④ 「安全・サービス向上委員会」を開催し意見交換を行った。(再掲:P2)

市民福祉プラザで直接管理運営に従事する職員が、相互に連携して円滑な業務遂行を図るとともに、プラザ利用者の安全性と利便性及びサービスの向上を図ることを目的に開催した。

なお、プラザ利用者の安全に関して緊急に対応が必要な場合は、個別に対応を協議した。

	日時	内容	出席者
1	平成27年 6月30日(火)	・平成26年度アンケートの結果及び利用者からの意見・要望 ・安全・サービスについての意見交換	12名
2	9月25日(金)	・平成27年度4月~8月の苦情要望について ・平成27年度消防訓練について ・安全・サービスについての意見交換 ・アンケートの実施について	12名
3	12月22日(火)	・平成27年度8月~11月の苦情要望について ・ノロウイルス対策について ・安全・サービスについての意見交換	12名
4	平成28年 3月29日(火)	・平成27年度12月~2月の苦情要望について ・平成27年度市民福祉プラザアンケート集計結果について ・安全・サービスについての意見交換 ・土嚢及び地下駐車場から1階への避難階段確認	13名

⑤ 指定管理関係職員と入居団体職員等を対象とした接遇研修・人権等研修を実施した。

((10. 職員研修の実施) のとおり)

⑥ 車での利用者の便宜を図るため、市民福祉プラザ周辺の駐車場案内地図を管理事務室窓口に設置した。

(2) フェイスブックによるPRの強化 (再掲P.6)

(3) 入居団体や関係機関にプラザエントランスホールを写真、イラスト、パネル、ポスター掲示による福祉啓発スペースとして提供した。

団 体	期 間	掲 示 内 容
福岡市原爆被爆者の会	平成27年8月5日(水) ～11日(火)	「原爆と人間展」のパネル掲示
介護実習普及センター	9月26日(土)	平成27年度第1回フェスタでの福祉施設等の授産製品販売等
福岡市身体障害者福祉協会	11月1日(日)	福岡市視覚障害者福祉協会文化での福祉施設の授産製品の販売、お茶の提供等
当仁校区人権尊重推進委員会	12月4日(金) ～10日(木)	小学生作成の人権ポスターの掲示
介護実習普及センター	平成28年2月27日(土)	平成27年度第2回フェスタでの福祉施設等の授産製品販売等

(4) インターネットによる予約について、利用登録団体の利便性とサービス向上のため、平成28年度からスタートできるように関係機関及び業者と準備を進めた。

(5) 幼児を同伴する利用者が、安心して利用できるように、利用者からの要請に応じ、本会ファミリー・サポート・センター会員の保育士を斡旋して託児サービスを実施した。

○実施回数23回、託児人数156名、保育士数66名 (資料編:P.3)

(6) プラザ周辺の清掃活動の実施

毎月第3火曜日の昼休み時間に、入居団体職員による地域清掃活動を行った。

実施日時：平成27年4月～平成28年3月の第3火曜日 12時30分～

(雨天中止を除き7回実施)

場 所：荒戸3丁目周辺

参 加 者：入居団体11団体から延べ82名

10. 職員研修の実施

市民サービスの充実のため、職員に対する接遇研修、倫理研修、人権研修等を実施したり、市や全社協等主催の研修に参加し、職員の資質の向上を図った。(市社協総務課主催研修)

研修名	内 容	研修日	受講者数
接遇研修	接遇(クレーム対応)の基本について、実践を通じて理解することにより、福祉職従事者及びプラザ従事職員としての接遇サービスの向上を図る。	平成27年7月 8日(水)	93名
人権研修	人権問題に対する正しい理解と認識を深め、福祉職従事者及び従事職員としての資質向上を図る。	11月20日(金)	93名

サービス区分資金収支計算書

(自) 平成27年 4月 1日 (至) 平成28年 3月31日

別紙3-1

(単位:円)

		勘定科目	予算	決算	差異
事業活動による収入支	収入	事業収入	163,662,000	163,554,351	107,649
		福祉プラザ施設管理経営収入	163,662,000	163,554,351	107,649
		その他の収入	0	20,340	△20,340
		雑収入	0	20,340	△20,340
		雑収入	0	20,340	△20,340
		事業活動収入計(1)	163,662,000	163,574,691	87,309
	支出	人件費支出	33,243,000	32,382,357	860,643
		職員給料支出	14,387,000	14,134,015	252,985
		職員賞与支出	3,885,874	3,874,632	11,242
		非常勤職員給与支出	10,764,126	10,496,615	267,511
		法定福利費支出	4,206,000	3,877,095	328,905
		事業費支出	126,186,000	121,618,019	4,567,981
		諸謝金支出	611,000	481,796	129,204
		旅費交通費支出	424,620	198,820	225,800
		研修費支出	6,000	6,000	0
		消耗器具備品費支出	7,032,920	6,806,494	226,426
		印刷製本費支出	89,847	87,480	2,367
		水道光熱費支出	36,797,532	36,658,940	138,592
		修繕費支出	8,100,000	8,067,032	32,968
		通信運搬費支出	1,073,173	889,430	183,743
		会議費支出	24,000	4,650	19,350
		広報費支出	1,335,908	847,584	488,324
		業務委託費支出	57,807,564	57,742,402	65,162
		手数料支出	297,000	255,521	41,479
		保険料支出	289,000	287,503	1,497
		賃借料支出	5,496,800	4,830,585	666,215
		租税公課支出	5,237,200	4,408,858	828,342
諸会費支出		12,000	12,000	0	
雑支出	1,551,436	32,924	1,518,512		
事務費支出	69,000	69,000	0		
福利厚生費支出	69,000	69,000	0		
支払利息支出	89,000	69,849	19,151		
その他の支払利息支出	89,000	69,849	19,151		
	事業活動支出計(2)	159,587,000	154,139,225	5,447,775	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,075,000	9,435,466	△5,360,466	
施設整備等による収入支	収入	施設整備等収入計(4)	0	0	0
		ファイナンス・リース債務の返済支出	706,000	723,948	△17,948
	支出	ファイナンス・リース債務の返済支出	706,000	723,948	△17,948
		施設整備等支出計(5)	706,000	723,948	△17,948
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△706,000	△723,948	17,948
その他の活動による収入支	収入	事業区分間繰入金収入	356,000	355,322	678
		事業区分間繰入金収入	356,000	355,322	678
		その他の活動収入計(7)	356,000	355,322	678
	支出	事業区分間繰入金支出	7,864,000	7,864,000	0
		事業区分間繰入金支出	7,864,000	7,864,000	0
		その他の活動支出計(8)	7,864,000	7,864,000	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△7,508,000	△7,508,678	678	
	予備費支出(10)	0	0	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△4,139,000	1,202,840	△5,341,840	

損益計算書

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

平成27年度
株式会社 旭商会

(単位:円)

売上高		44,915,000
外注費	10,912,674	
人件費	23,271,542	
営業管理費	5,500,000	
総務管理費	4,500,000	
備品消耗品費	550,000	
支払手数料	51,840	44,786,056
営業利益		128,944
預金利息	2,305	1,527
經常利益		130,471
当期利益		130,471

Ⅱ 福岡市市民福祉プラザ指定管理者自主事業の実施報告

1. ボランティアグループ等の調査

ボランティア活動の振興を図るため、グループ調査やボランティア活動の受け入れ施設調査を行い、調査結果をボランティアや福祉施設に配布した。

(1) 収支決算書

<収入> (単位：円)

費目	予算額	決算額
受取利息収入	26,000	26,000
合計	26,000	26,000

<支出> (単位：円)

費目	予算額	決算額
消耗品費	26,000	26,000
通信運搬費	0	0
合計	26,000	26,000

(2) 作成物

ボランティアグループ一覧

福岡市内の社会福祉施設等のボランティア募集・ボランティア体験受入情報

芸能ボランティア情報

福岡市内の社会福祉施設等のバザー用品等募集情報